

定例公安委員会の開催状況について

令和2年6月25日（木）に、第18回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 「夏型交通事故」の防止対策について

一般的に暑さや疲れからくる気の緩みや疲れが原因の、居眠りや漫然運転による車両単独事故や正面衝突事故といった「夏型交通事故」の発生状況や防止対策について報告があった。

委員のコメント

- 分析によっていろいろな特徴が見えてくる。日中、非市街地、幹線道路という特徴がわかれば対策を立てられるし、県境をつなぐ道路での注意喚起や取締りはとても重要だと思う。
- 夏場に正面衝突や車両単独事故が多いという特徴で、防ぐためには幹線道路で取締りをする警察官の姿を見せることだと思う。ダミーの看板にもそれなりの効果があるとは思いますが、『警察官がこの場所をよく取締りをしている』と見せることに効果があると思うので、居眠りしそうな場所で警戒をしてほしい。
- 今年の天気は7月から9月まで高温になることと、子供の夏休みが短くなるので、お盆を中心に交通量が相当増えると思われることに不安を感じている。また、あおり運転の関係で道路交通法が改正されるが、自転車のあおり運転もあるので、摘発に力を入れてほしい。